

#### (4) 世帯収入と貧困率

以上の就業状況の変化は、世帯収入の変化にもあらわれている。狭義の若年出産の世帯収入は第5回で277.7万円であり、広義の若年出産では338.3万円、高齢出産では675.1万円となっており、狭義の若年出産の世帯収入は高齢出産の世帯収入の4割と大きな差がひらいている。母親収入、父親収入の内訳でみると、若年出産では高齢出産と比べて収入の変化が大きく、経済的状況に変化が大きいことが読み取れる(表5)。貧困率をみても、狭義の若年出産の貧困率が顕著に高く、第1回は69.79%と約7割を占めており、第6回でも49.02%と半数を占めている(図3)。

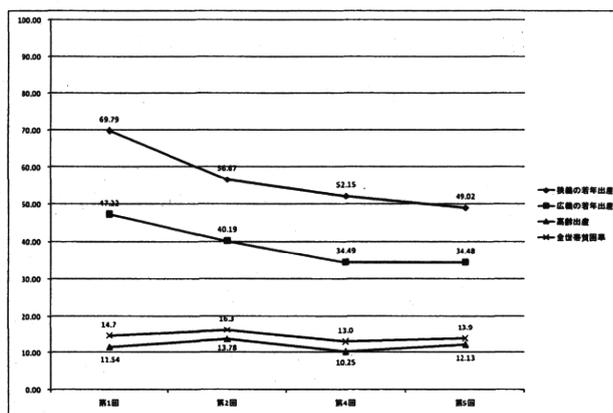
表5 世帯収入

狭義の若年出産	(上段:平均値(万円)、下段:標準偏差)			
	第1回	第2回	第4回	第5回
母親収入	19.6 (48.5)	10.1 (33.2)	40.4 (65.9)	57.2 (101.5)
父親収入	146.6 (217.9)	162.2 (153.5)	187.1 (177.2)	206.1 (181.7)
その他の収入	12.9 (62.3)	18.0 (41.4)	18.8 (49.3)	14.4 (28)
世帯収入	179.1 (233.1)	190.2 (158.5)	246.2 (175.7)	277.7 (216.1)
その他の収入が世帯収入に占める割合	9.4 (25)	20.1 (34.6)	13.5 (27.1)	8.7 (18.5)

広義の若年出産	(上段:平均値(万円)、下段:標準偏差)			
	第1回	第2回	第4回	第5回
母親収入	47.6 (75.5)	14.8 (44.9)	42.9 (103.9)	53.1 (86.6)
父親収入	210.8 (298.4)	229.6 (172.1)	260.1 (308.5)	267.7 (242.7)
その他の収入	10 (42.1)	18.2 (35)	13.9 (29.9)	17.5 (136.1)
世帯収入	268.4 (314.6)	262.6 (182)	317 (325.5)	338.3 (284.7)
その他の収入が世帯収入に占める割合	5.5 (17.8)	11.2 (22.5)	7.7 (18.2)	7.2 (16.7)

高齢出産	(上段:平均値(万円)、下段:標準偏差)			
	第1回	第2回	第4回	第5回
母親収入	113.1 (207.8)	59.1 (143.5)	97.2 (210.7)	106 (263.8)
父親収入	528.6 (397.8)	517.2 (386.8)	543.1 (409.9)	551.6 (494)
その他の収入	9.7 (64.8)	20.9 (53.8)	15.2 (74.5)	17.5 (134.7)
世帯収入	651.4 (468.8)	597.2 (431.6)	655.4 (493.1)	675.1 (658.8)
その他の収入が世帯収入に占める割合	2.1 (9.7)	5.7 (15.3)	3.9 (13.2)	4.0 (13.4)

図3 貧困率



### (5) 子育て費用や習い事

こうした社会経済状況の違いは、子育て費用や習い事にどうあらわれているだろうか。狭義の若年出産と高齢出産の収入が大きく異なることを上記で見えてきたが、その大きさに比べて、子育て費用や保育料の差は小さいことがわかる。すなわち、毎月の子育て費用として第6回では若年出産で4万円、高齢出産で5万円であり、保育料(第6回)でも、狭義の若年出産(2.2万円)と高齢出産(2.6万円)とでは4千円の差であり、子どもにかかる費用自体は、第6回になると収入ほどは大きな違いが見られない(表6)。

ただ、習い事(第6回)をみると、若年出産と高齢出産では幼児教室、音楽、体操、水泳、英語それぞれで2~3倍のひらきがあり(表7)、今後は子どもにかかる費用の差が大きくなっていくことが推測される。

表6 子育て費用

①子育て費用(単位:万円)			
	狭義の若年出産	広義の若年出産	高齢出産
第1回	6.0	5.6	3.9
第2回	3.4	3.0	2.9
第3回	2.2	2.3	2.5
第4回	2.5	3.0	3.6
第5回	4.5	4.4	6.2
第6回	3.9	4.1	5.0

②保育料(単位:万円)			
	狭義の若年出産	広義の若年出産	高齢出産
第1回	3.1	2.9	3.7
第2回	1.8	1.8	2.7
第3回	1.8	2.0	3.0
第4回	1.9	1.9	2.8
第5回	2.2	2.1	2.6

③習い事費用			
	狭義の若年出産	広義の若年出産	高齢出産
第6回	1.1	0.9	1.4

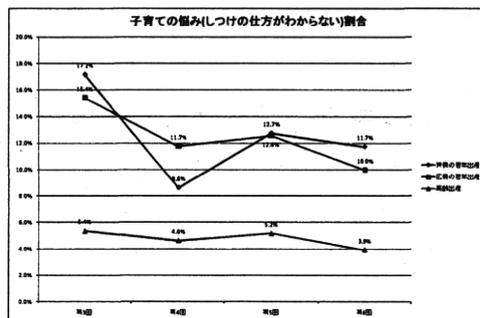
表7 習い事(第6回)

幼児教室	狭義の若年出産	3.4%
	広義の若年出産	1.8%
	高齢出産	6.3%
音楽(ピアノなど)	狭義の若年出産	5.0%
	広義の若年出産	7.2%
体操	狭義の若年出産	21.2%
	広義の若年出産	3.4%
水泳	狭義の若年出産	3.9%
	広義の若年出産	12.0%
英語	狭義の若年出産	8.4%
	広義の若年出産	11.8%
	高齢出産	20.2%
英語	狭義の若年出産	6.1%
	広義の若年出産	7.2%
	高齢出産	12.7%

### (6) 育児不安・ストレス

最後に、出生児調査では育児不安・ストレスについて丁寧に設問をもうけて聞いているが、それを若年出産・高齢出産のクロスでみてみると、「子育ての悩み(しつけの仕方がわからない)」という項目でもっとも大きな差がみられた。すなわち、第3回でみると、しつけの仕方がわからない割合は、高齢出産が5.4%なのに対して、若年出産では17.2%(狭義)、15.4%(広義)と約3倍となる。第6回までにその割合は減少するものの、高齢出産とは2倍以上のひらきがある(図4)。

図4 子育ての悩み(しつけの仕方がわからない)



## (7) 小括

EU 諸国の比較研究によれば、各国にバリエーションがあるものの、10代で出産した女性の方が20代で出産した女性よりも暮らし向きが相対的に悪いことが明らかになっている。また、ヨーロッパ諸国では、若年出産が社会経済的要因にどのような影響があるのかについての量的な調査研究が蓄積されており、若年出産が収入、就業状況、教育達成に与える影響について各先行研究で結果は分かれるものの、若年出産が教育達成（特に高校卒業）や教育期間、賃金や就業経験に関連がある、あるいは否定的な影響を与えるという結果がいくつかの先行研究で指摘されている。

日本では若年出産に着目した研究が近年いくつかなされているが、パネルデータを用いたその実態把握はなされているとはいいがたい。本稿では、本稿では若年出産に焦点をあて、先行研究のレビューをふまえ、現代日本における若年出産の社会経済的な状況と子育ての実態について、出生児調査（第1～6回）を用いて探索的な分析を行った。ここでは以下5点にまとめて、その考察と含意を整理する。

第一に、狭義の若年出産（10代での出産）グループは他のグループに比べて非常に脱落が多く、全サンプルに占める割合が減少している。逆に、高齢出産が全サンプルに占める割合が上昇している。パネルデータのサンプルを追加する際には、出産時期の視点も入れた検討が必要だと考える。

第二に、狭義の若年出産の最終学歴をみると中学校が6割、父親の最終学歴も狭義の若年出産では中学校が3割である。出生児調査では高校中退を問うていないため実態は把握できないが、先行研究をふまえると、この中には高校中退がかなり含まれていると推測される。若年出産が就学時期や継続に与える影響を分析するうえでも、親の高校中退に関する実態把握は重要であり、今後の出生児調査において、この点に関する設問を含めることも検討が必要だと考える。

第三に、就業状況を見ると、若年出産は高齢出産の層に比べて就業状況の変化が大きく、それに伴い世帯収入の変化も大きい。狭義の若年出産の貧困率が69.79%（第1回調査）と非常に高く、経済的な状況が大変不安定である。その背景には、狭義の若年出産では父親との同居率や常勤雇用の比率がもっとも低いという要因がある。祖父母との同居率が若年出産では最も高いが、祖父母との同居によって暮らしを成り立たせられる層以外に、孤立して子育てしている若年出産の層のよりいっそうの実態把握が必要であると考えられる。

第四に、子育て費用や保育料は若年出産が顕著に低いわけではなかった。ただし、習い事の実態をみると若年出産と高齢出産では習い事をさせている割合に2～3倍の違いがあり、今後子どもが小学校に上がるにつれて、塾など習い事がより多くなれば、子ども間の機会格差はよりいっそう拡大していくのではないかと考えられる。若年出産の貧困リスクや社会経済的な不安定のリスクをふまえた子育て支援のあり方を議論する余地があると思われる。

最後に、育児不安や育児ストレスについて、狭義の若年出産グループでは、子育ての仕方がよくわからないといった点への不安が顕著に高かった。これまでの育児不安・ストレ

スの議論ではあまり浮かびあがってこなかった論点であり、子育て支援でも、特に若年出産の層に焦点をあてたサポートのあり方もより一層検討される必要がある。

#### 4. 学歴別にみる若年出産者の現状

以下4節では、3節の分析をふまえて再分析を行うことで、現代日本の若年出産の実態把握にはどの分析手法がよいかを探っていく。今年度は新たに、24歳以下で子どもを出産した女性を若年出産者と定義し直し、学歴別から若年出産者の現状を探っていく。第1回時点で24歳以下の若年出産者は4627人いたが、第7回時点ではその6割に当たる2742人が残っている。

今回、若年出産者を24歳以下にして再分析した理由は次の2つがある。まず、第1子の平均出産年齢が20代後半であることに鑑み、その対比として10代での出産を含む20代前半で出産したものを若年出産者とした。次に、若年出産者を10代だけに限定した場合、サンプル数が小さくなり、クロス分析などで細分化した場合には極端な結果が出やすくなるという問題がある。そのためサンプル数を確保するために24歳以下を若年出産者と定義した。

以上の考え方から、本節では若年出産者を24歳以下で子どもを出産した女性と定義し直した上で、若年出産者は出産により学業が中断されることもあることをふまえ、教育達成の度合いで若年出産者を細分化し、同じ若年出産者であっても達成した学歴によって抱えている課題が異なるかどうかを検証する。

##### (1) 学歴

若年出産者の学歴は「高卒」が半数を占め、「中学卒」も全体の15%を占めている。「中学卒」の割合は非若年出産者の3倍の割合となっている。また、若年出産者の夫の学歴は、「高卒」が半数を占める一方、「大学・大学院卒」の割合は非若年出産者の夫の約4分の1である(図5)。

##### (2) 収入、貧困率

若年出産者の世帯収入をみると、第1, 2回調査では、どの学歴でも「200から400万円」に多く分布している。第4回調査以降、最終学歴が大学である若年出産者の世帯から「400から600万円」の世帯収入カテゴリーへと最頻値が移行している一方、非若年出産者は第1回より「400から600万円」の層に多く分布していることがわかる(表8)。

貧困率について、若年出産者が貧困に陥りやすいことは前回の調査より明らかになっていたが、その陥りやすさが学歴によって異なることが明らかになった。同じ若年出産者でも「大学・大学院」卒の貧困率は約15%であるのに対して、中学卒の場合の貧困率は約35%程度である(表9)。

##### (3) 就業状況

若年出産者の就業状態をみると、中学卒、大学・大学院卒を除き、出産前の就業状態で最も多いのは「常勤」である。出産後はどの最終学歴であっても「家事・無職」にとどまる割合が高くなっている。非若年出産者の就業形態は中学卒の就業形態と「家事・無職」割合が高い点で似た傾向をみせているが、出産後の就業への移行では、非若年出産者の方

が「常勤」として働く割合が高くなっている（表 10）。

若年出産者の学歴によらず、夫の就業形態では「常勤」が最も多い。ただし、若年出産者の学歴が「大学・大学院卒」である場合には、夫の出産 1 年前の就業状態が学生である割合が他の学歴出身の場合に比べて高い（表 11）。

#### （4）子育てに関する悩み

若年出産者の子育てに関する悩みについて学歴別にみると、「育てていて負担に思うことや悩みの有無」は若年出産者間の学歴、若年・非若年出産者の違いによらず、第 6 回までは 80% 台以上であり、7 回目に入り 60% 台へと減少する。また、「気持ちに余裕をもって子どもに接することができない」と答える割合は同じ若年出産者間でも約 10% の差があり、大学・大学院卒の方が中学卒に比べて高くなっている。一方、「子育て出費がかさむ」という悩みを持っている割合は、中学卒の方が大学・大学院卒に比べて 10% ほど高くなっている（図 6①～⑥）。

#### （5）同居状況

夫との同居状況は若年出産者間で異なっている。最終学歴が「中学卒」である者の父親同居率は第 1 回目は 90% であるが、第 7 回にかけて 78% と減少している。一方、最終学歴が「大学・大学院卒」である者の同居率は、第 1 回から第 7 回にかけて 90% 前後を維持している（図 7①）。

祖父母との同居状況もまた若年出産者間で異なっている。祖父母との同居は父方、母方によらずそのうちの少なくとも一人と同居している割合である。第 1 回調査時から「中学卒」のもの同居率は 37% と他の学歴のものに比べて高く、第 7 回までに 45% まで上昇している。祖父母との同居率は第 6 回までは「高卒」が 35% である一方、「大卒」の同居率は 20% 前後にとどまっている。第 7 回時には若年・非若年出産によらず同居率が高まっている（図 7②）。

ここで、祖父母との同居により、若年出産者間で子育てに関する悩みに差が出るかどうかを見ると、「子育て出費がかさむ」という悩みについては、学歴によらず非同居世帯のほうがより多く出費がかさむという悩みを持っている。特に第 6 回時にその差が大きくなる傾向がある。また、「気持ちに余裕を持って接することができない」と答える割合も非同居世帯の方が多い。一方、「しつけの仕方が家族内で一致していない」ことを悩んでいる世帯は祖父母同居世帯に多くなっている（表 12）。

ちなみに、若年出産者の学歴別に相談相手の人数を見ると、「大学・大学院」卒で相談相手が「いない」と答える割合が高くなっている（図 8）。

#### （6）子育て費用

子育て費用については、どの学歴においても第 1 回から第 4 回までは「2 万円台」以下に多く分布し、第 5、6 回に子育て費用への出費が増える傾向にある。第 7 回時には子育て費用は「2 万円台」に多く分布するようになる（表 13）。

#### （7）習い事

習い事の有無、習い事の内容について確認する。習い事の有無は同じ若年出産者間でも異なっており、「中学卒」のもの習い事をしている割合は「大学・大学院卒」のものに比べて 15～20%

低くなっている。非若年出産者と「大学・大学院卒」の習い事割合はほぼ同じである（図9）。

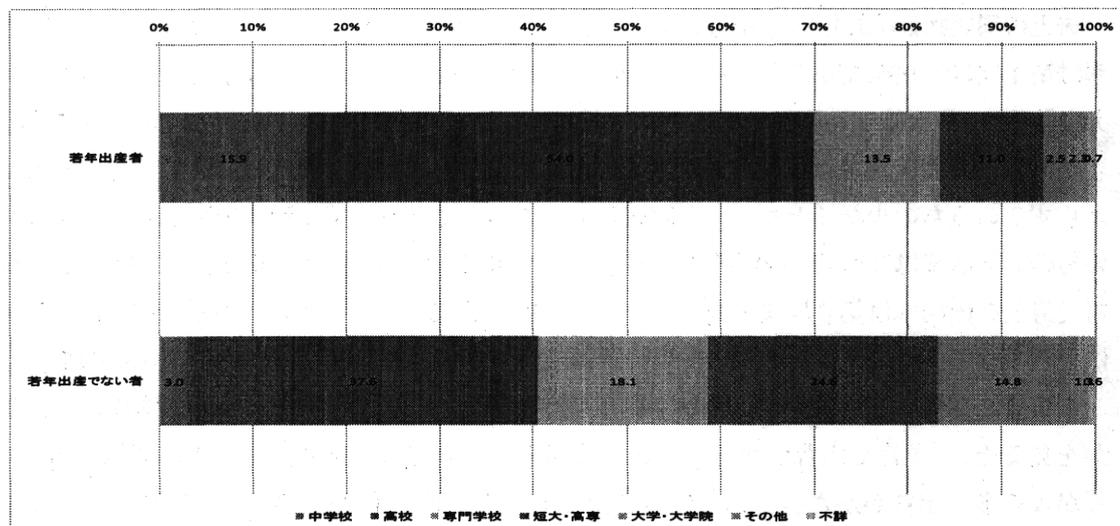
### （8）家庭学習時間、テレビ視聴時間

子どもの家庭学習時間を「しない」と答えた割合は、若年出産者の中でも学歴が中学校である場合に4.0%と多い。また、「30分～1時間」と答えた割合は学歴によらず、40%前半であり、「1時間～2時間未満」と答えた割合は学歴が「短大・高専」卒業者が22.7%と多いものの、どの学歴区分でも10%代後半である（図10）。

子どものテレビ視聴時間が1時間未満の割合は「大卒」の若年出産者が最も高い。一方、「中学卒」の若年出産者の世帯におけるテレビ視聴時間は「2～4時間未満」の割合が大きいところの特徴がある（図11）。

## 図5 学歴分布

### ①若年出産者



### ②若年出産者の夫

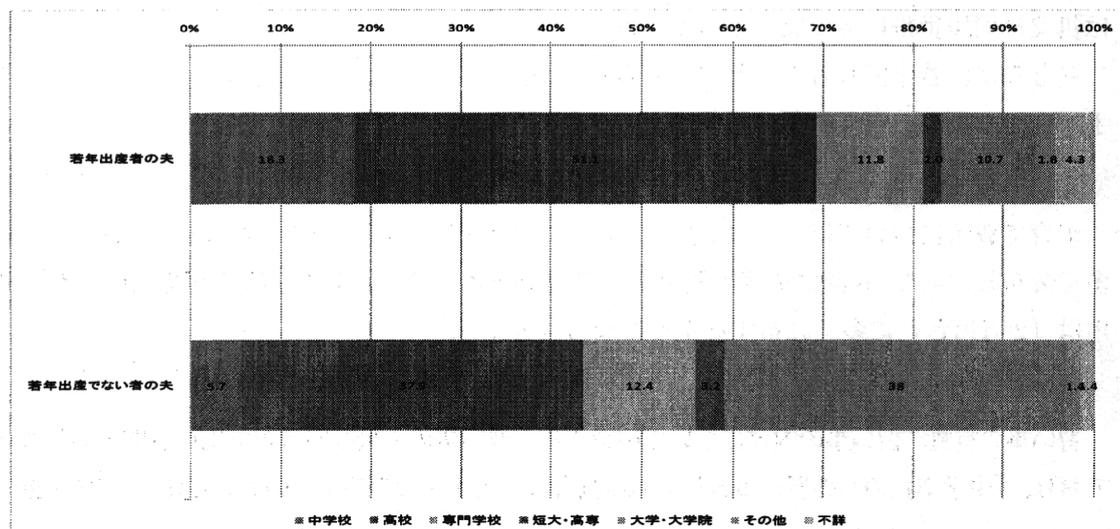


表8 学歴別若年出産者の収入分布

中学校								
	200万円未満	200から400万	400から600万	600から800万	800から1000	1000から2000	2000万円以上	合計
	円	円	円	万円	万円	万円以上		
第1回	38.0	41.0	17.4	2.6	0.3	0.3	0.3	100.0
第2回	33.9	45.0	17.6	2.7	0.3	0.5	0.0	100.0
第4回	26.4	47.6	20.8	3.9	0.4	0.4	0.4	100.0
第5回	24.5	42.6	26.7	5.0	0.2	0.7	0.2	100.0
第7回	25.0	33.4	29.5	8.8	1.3	1.6	0.3	100.0
高校								
	200万円未満	200から400万	400から600万	600から800万	800から1000	1000から2000	2000万円以上	合計
	円	円	円	万円	万円	万円		
第1回	21.7	44.0	26.9	5.6	1.2	0.4	0.2	100.0
第2回	24.7	49.6	21.7	3.4	0.5	0.1	0.1	100.0
第4回	17.9	46.5	28.7	5.2	1.1	0.3	0.2	100.0
第5回	17.9	40.3	32.4	7.3	1.6	0.2	0.4	100.0
第7回	12.8	32.3	38.8	12.2	2.7	1.1	0.1	100.0
専門学校								
	200万円未満	200から400万	400から600万	600から800万	800から1000	1000から2000	2000万円以上	合計
	円	円	円	万円	万円	万円		
第1回	18.5	38.0	28.7	9.6	3.2	1.7	0.2	100.0
第2回	19.8	46.6	26.4	5.5	0.8	0.8	0.2	100.0
第4回	13.6	41.3	32.1	9.4	1.7	1.7	0.2	100.0
第5回	13.1	37.6	33.1	10.8	3.8	0.9	0.7	100.0
第7回	8.6	29.6	37.7	14.3	6.0	2.9	1.0	100.0
短大・高専								
	200万円未満	200から400万	400から600万	600から800万	800から1000	1000から2000	2000万円以上	合計
	円	円	円	万円	万円	万円		
第1回	15.6	39.1	30.0	11.6	2.8	0.9	0.0	100.0
第2回	18.1	45.8	27.1	6.3	1.4	0.9	0.5	100.0
第4回	10.8	39.3	36.2	11.3	2.1	0.3	0.0	100.0
第5回	14.7	33.9	38.3	9.4	2.8	0.8	0.0	100.0
第7回	10.1	23.2	41.8	17.6	3.9	2.6	0.7	100.0
大学・大学院								
	200万円未満	200から400万	400から600万	600から800万	800から1000	1000から2000	2000万円以上	合計
	円	円	円	万円	万円	万円		
第1回	14.4	43.3	35.1	5.2	2.1	0.0	0.0	100.0
第2回	8.2	51.5	32.0	7.2	1.0	0.0	0.0	100.0
第4回	4.5	36.4	37.5	19.3	2.3	0.0	0.0	100.0
第5回	9.9	27.2	38.3	17.3	4.9	2.5	0.0	100.0
第7回	9.6	19.2	39.7	17.8	11.0	2.7	0.0	100.0
非若年出産者								
	200万円未満	200から400万	400から600万	600から800万	800から1000	1000から2000	2000万円以上	合計
	円	円	円	万円	万円	万円		
第1回	8.0	19.4	34.4	21.5	9.4	6.8	0.5	100.0
第2回	11.9	21.3	35.6	18.8	7.3	4.6	0.5	100.0
第4回	8.3	19.5	34.3	21.0	9.0	7.2	0.7	100.0
第5回	8.9	17.4	33.4	21.7	9.9	8.0	0.7	100.0
第7回	7.1	13.8	30.6	24.1	12.2	11.1	1.1	100.0

表9 学歴別若年出産者の貧困率

	第4回	第5回	第7回
中学校	36.6%	36.2%	35.7%
高校	29.0%	28.8%	24.7%
専門学校	22.6%	23.4%	16.9%
短大・高専	19.5%	22.5%	19.3%
大学・大学院	9.1%	14.8%	15.1%
若年出産でない	11.5%	12.4%	11.6%

表10 学歴別若年出産者の就業状態の分布

中学校				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	46.1	7.2	8.8	33.1
第1回	80.1	0.5	1.8	9.5
第2回	69.0	0.5	3.2	20.9
第4回	51.8	0.2	5.2	32.0
第5回	46.2	0.2	5.2	33.7
第6回	40.2	0.3	8.9	35.8
第7回	46.5	0.3	8.6	34.1
高校				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	28.7	7.1	37.2	24.3
第1回	79.9	0.7	9.8	5.0
第2回	68.0	0.5	10.5	17.1
第4回	50.5	0.3	12.1	29.8
第5回	43.0	0.2	13.6	33.0
第6回	38.2	0.1	15.0	37.0
第7回	35.9	0.2	16.4	39.6
専門学校				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	15.1	13.4	55.2	13.6
第1回	73.6	1.5	16.9	3.8
第2回	59.9	1.1	18.8	16.4
第4回	47.0	0.4	21.0	23.7
第5回	41.3	0.2	21.6	29.0
第6回	35.1	0.2	25.4	29.0
第7回	31.7	0.5	23.4	37.8
短大・高専				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	20.1	10.0	51.6	15.3
第1回	79.4	0.7	11.3	4.2
第2回	72.2	0.5	10.9	14.1
第4回	55.6	0.5	13.6	23.1
第5回	52.6	0.3	13.6	26.0
第6回	48.0	0.8	15.5	29.4
第7回	40.3	0.3	16.6	35.3
大学・大学院				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	7.2	52.6	22.7	15.5
第1回	71.1	13.4	6.2	4.1
第2回	66.0	9.3	10.3	12.4
第4回	53.4	0.0	15.9	26.1
第5回	51.9	0.0	19.8	19.8
第6回	45.8	0.0	24.1	26.5
第7回	45.8	0.0	26.4	23.6
非若年出産				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	45.1	0.3	31.3	16.5
第1回	73.0	0.1	16.0	4.0
第2回	68.2	0.1	15.3	9.4
第4回	57.0	0.2	15.8	17.2
第5回	51.0	0.2	16.2	21.6
第6回	47.1	0.2	16.8	25.2
第7回	43.1	0.1	17.3	29.6

表 11 学歴別若年出産者の夫の就業状態の分布

中学校				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	5.6	3.1	68.2	9.1
第1回	3.7	0.7	73.3	6.7
第2回	4.3	0.2	67.9	3.4
第4回	3.7	0.0	61.9	2.8
第5回	2.6	0.0	61.8	1.7
第6回	1.8	0.0	57.7	3.4
第7回	3.4	0.0	73.6	3.4

高校				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	2.0	3.9	79.0	4.9
第1回	2.2	1.1	82.3	3.2
第2回	2.3	0.8	80.0	2.5
第4回	1.3	0.1	76.1	2.3
第5回	0.7	0.0	74.1	1.7
第6回	1.2	0.0	72.8	1.1
第7回	0.9	0.1	82.6	1.0

専門学校				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	1.4	5.8	77.8	5.6
第1回	1.6	1.4	83.3	2.1
第2回	0.4	0.6	83.1	1.9
第4回	1.0	0.6	77.1	2.1
第5回	1.3	0.2	72.4	2.2
第6回	0.2	0.5	71.2	0.7
第7回	1.2	0.3	79.1	0.3

短大・高専				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	1.2	4.9	80.2	4.5
第1回	1.4	1.2	82.7	3.8
第2回	0.0	0.5	85.0	1.9
第4回	1.0	0.0	79.5	2.3
第5回	0.6	0.0	80.9	1.1
第6回	0.6	0.0	75.1	0.6
第7回	1.4	0.0	82.7	1.4

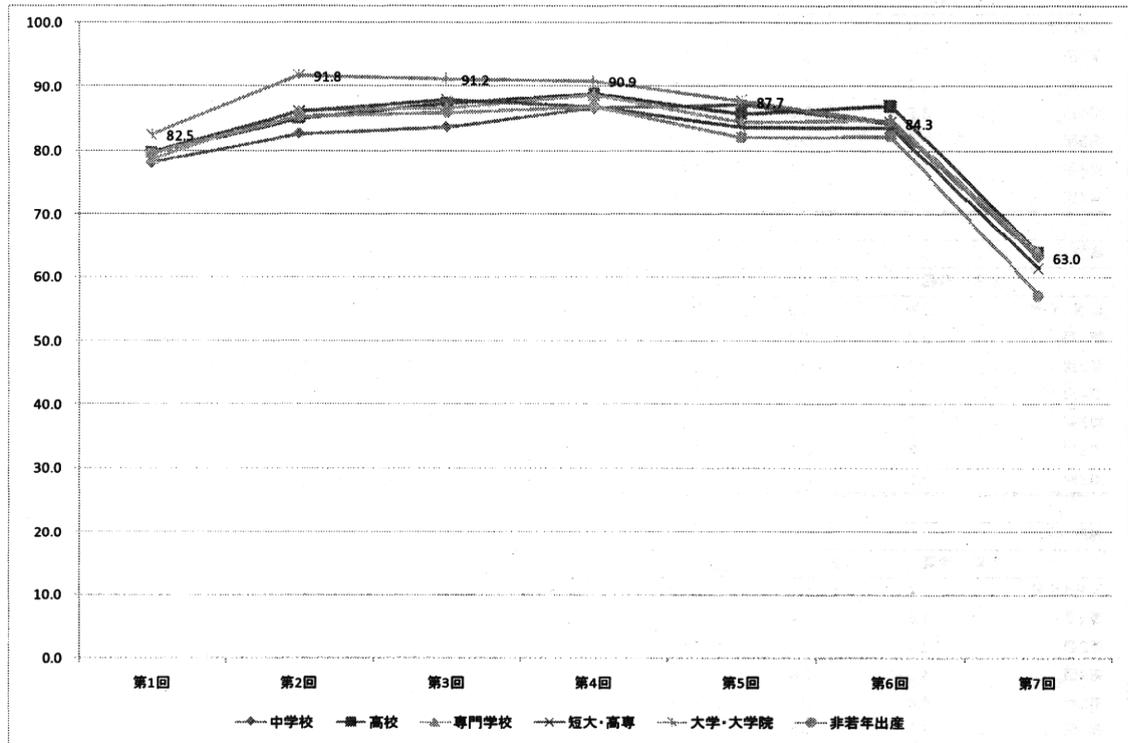
大学・大学院				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	1.0	18.6	68.0	7.2
第1回	0.0	5.2	84.5	3.1
第2回	2.1	3.1	86.6	1.0
第4回	1.1	2.3	86.4	1.1
第5回	0.0	2.5	81.5	1.2
第6回	0.0	2.4	80.7	1.2
第7回	4.8	0.0	88.9	0.0

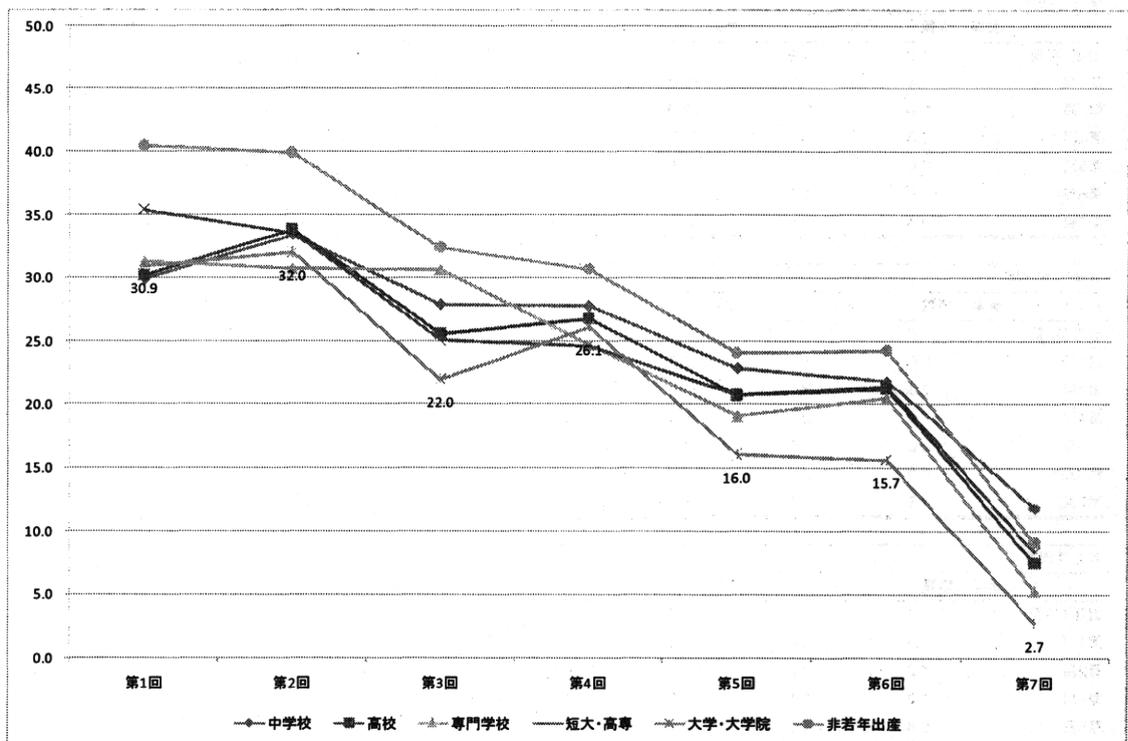
非若年出産				
	家事・無職	学生	常勤	パート
出産1年前	0.7	0.3	84.7	1.3
第1回	1.3	0.2	83.4	1.2
第2回	1.2	0.2	83.0	0.9
第4回	1.0	0.1	80.6	1.1
第5回	0.8	0.0	79.4	0.9
第6回	0.7	0.1	78.9	0.8
第7回	0.7	0.0	82.6	0.9

図6 学歴別若年出産者の子育てに関する悩みについて

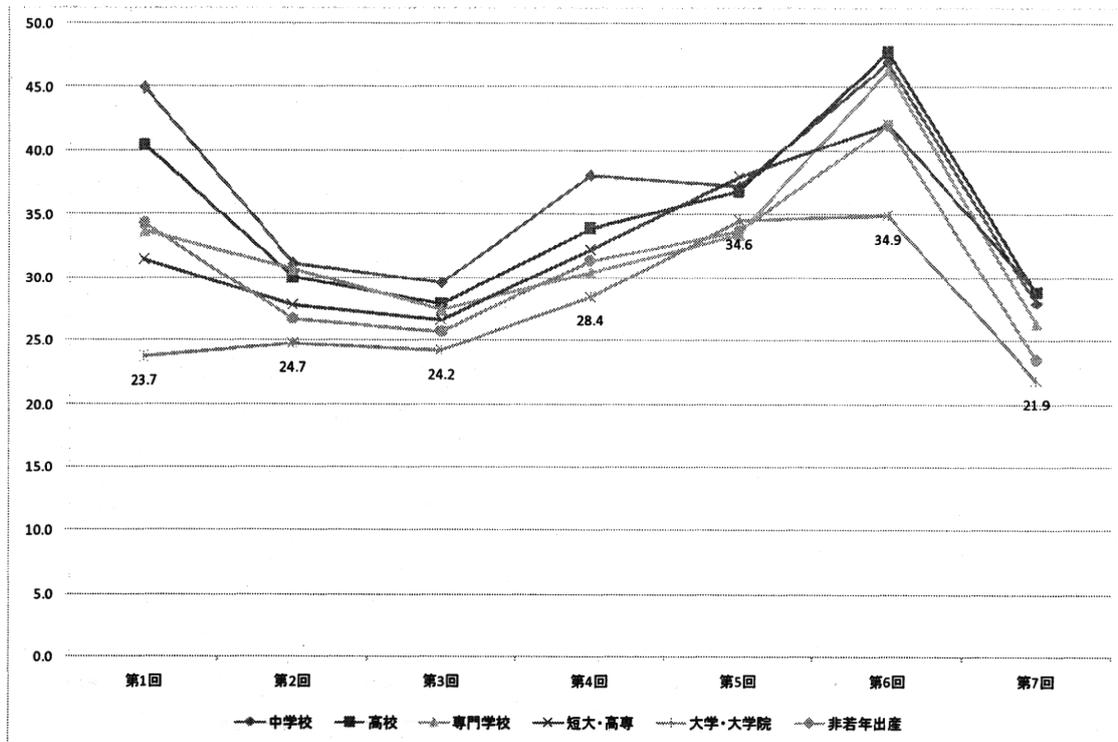
①育てていて負担に思うことや悩み(有無)



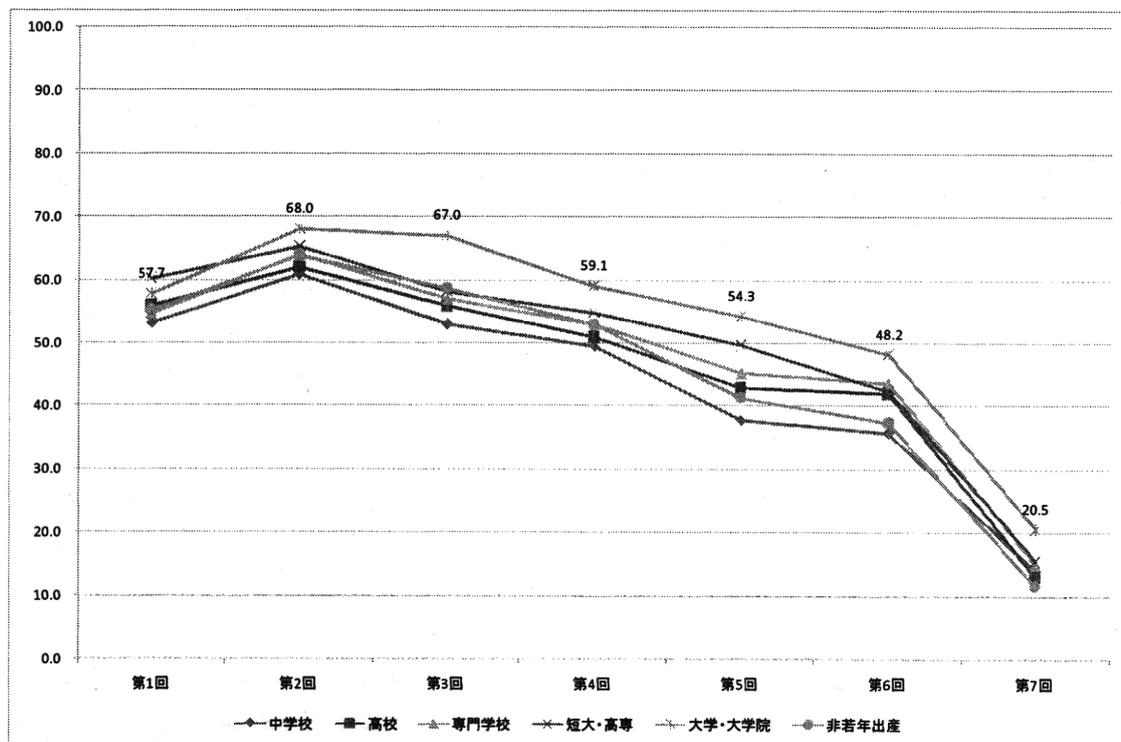
②子育てによる身体の疲れが大きい



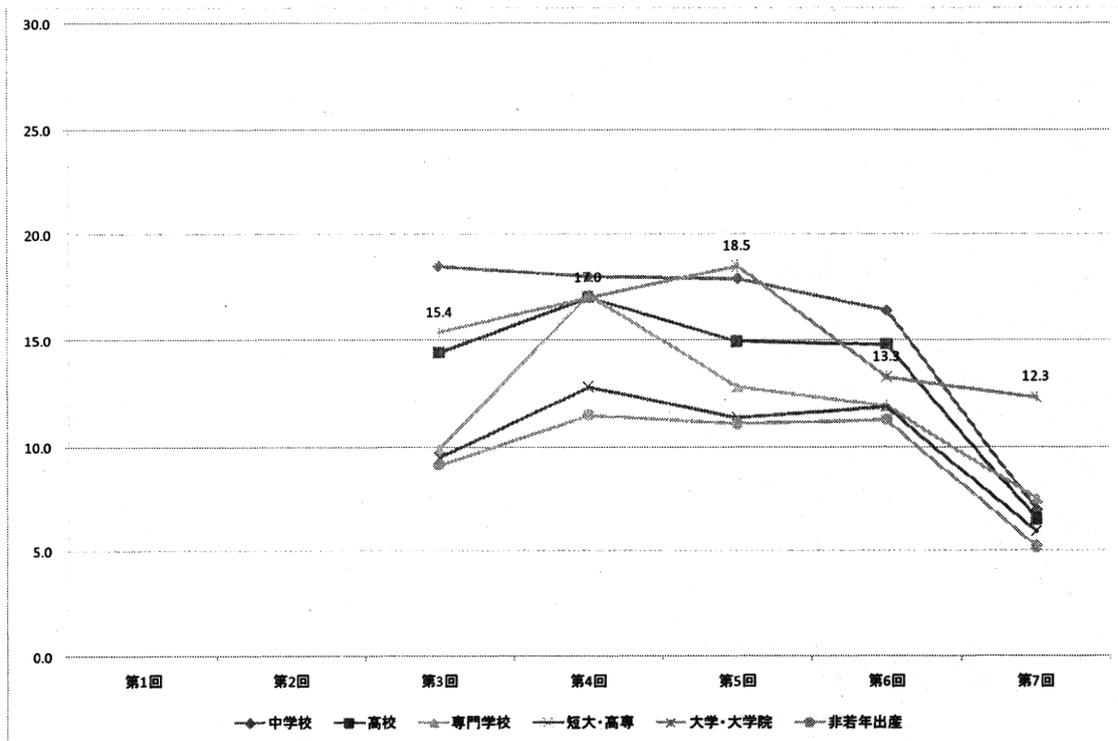
### ③子育て出費がかさむ



### ④自分の自由な時間が持てない



⑤しつけのしかたが家族内で一致していない



⑥気持ちに余裕をもって子どもに接することができない

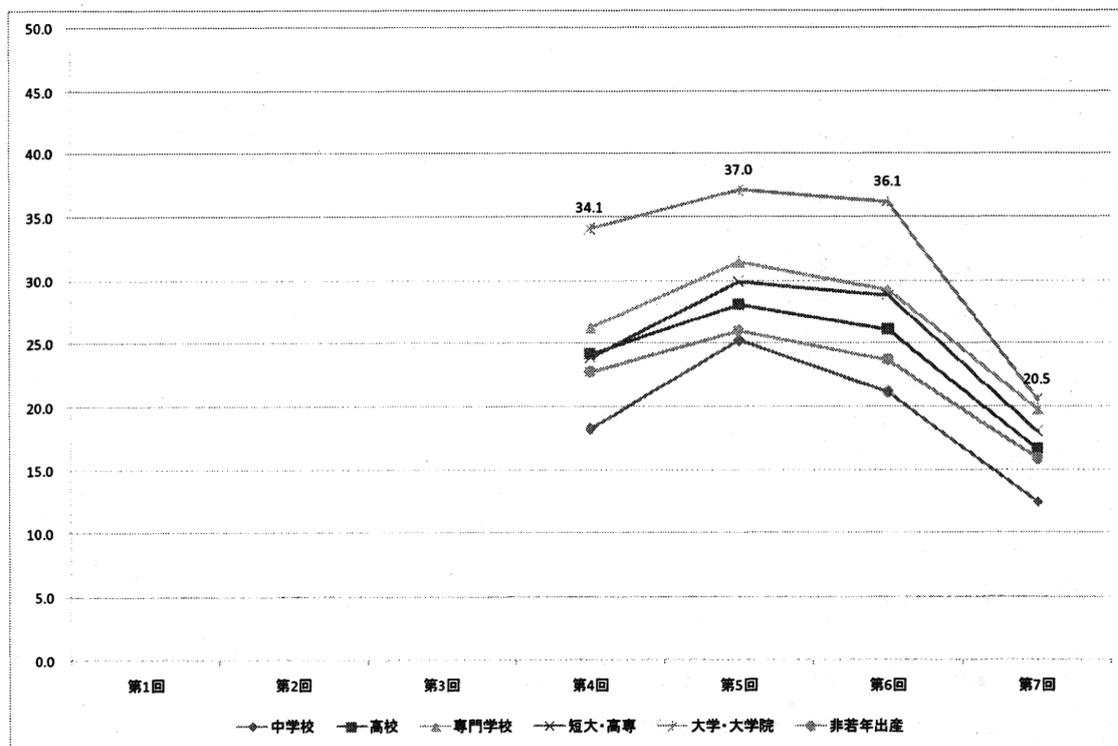
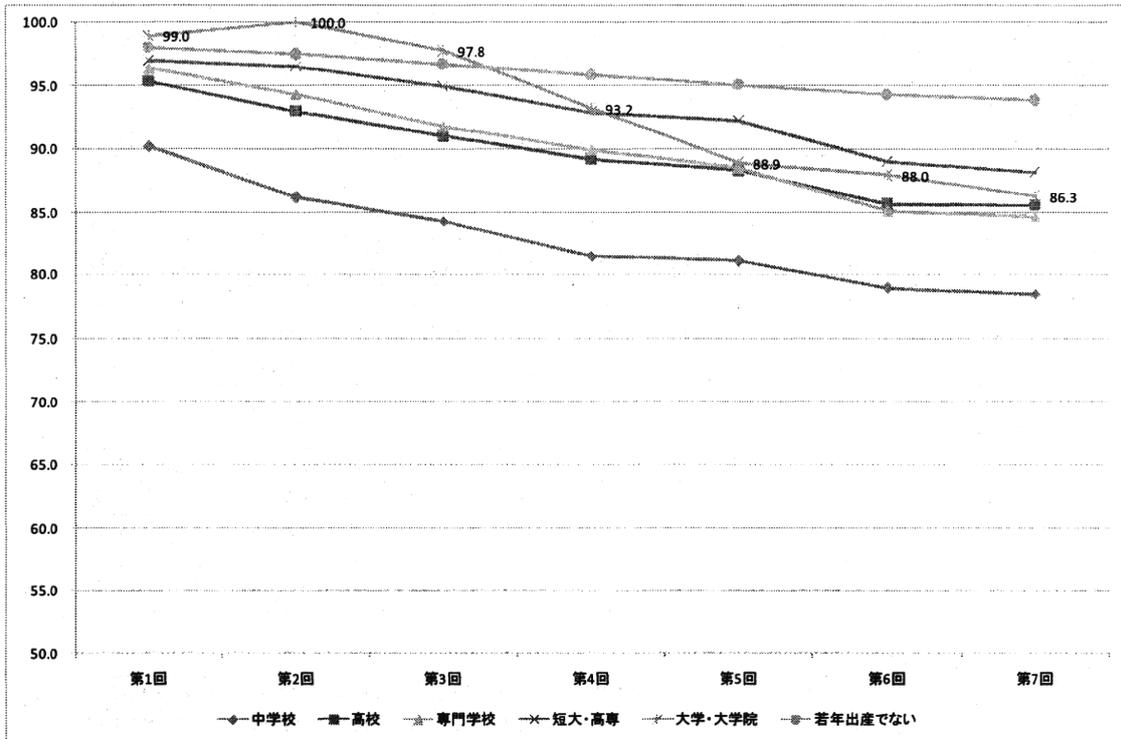


図7 学歴別若年出産者の同居状況

①夫との同居



②祖父母との同居

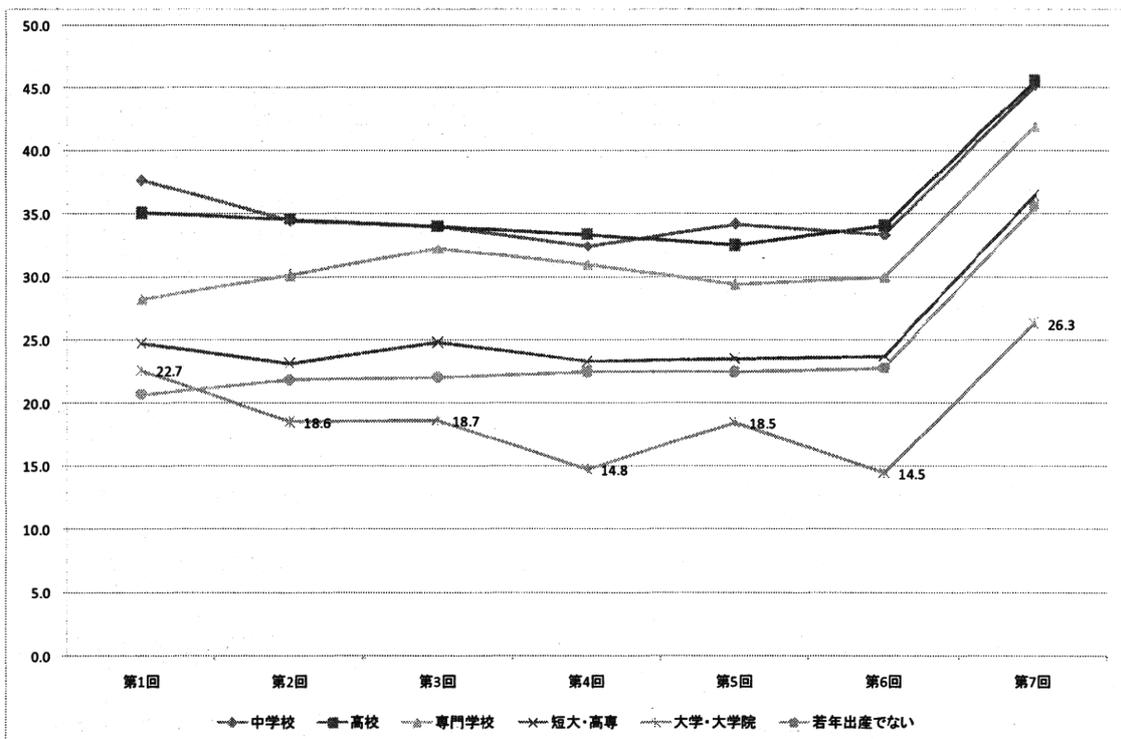


表 12 祖父母との同居・非同居の別による学歴別若年出産者の悩み

子育て出費がかさむ												
	中学校		高校		専門学校		短大・高専		大学・大学院		非若年出産	
	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居
第5回	31.7	40.1	36.4	37.0	29.0	35.4	31.8	39.9	26.7	36.4	29.6	34.9
第6回	35.2	52.9	43.2	50.1	39.0	49.5	33.3	44.8	16.7	38.0	36.5	43.7
第7回	23.2	30.8	23.6	33.5	18.5	31.5	23.5	27.0	13.3	19.0	20.9	24.4

自分の自由な時間が持てない												
	中学校		高校		専門学校		短大・高専		大学・大学院		非若年出産	
	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居
第5回	35.2	39.1	40.9	43.8	37.4	48.4	47.1	50.4	46.7	56.1	39.6	41.8
第6回	39.1	34.1	42.7	41.5	35.0	47.4	41.7	42.6	50.0	47.9	36.4	37.6
第7回	14.1	10.0	11.2	16.4	15.1	13.9	13.6	15.6	20.0	23.8	12.2	11.7

仕事や家事が十分にできない												
	中学校		高校		専門学校		短大・高専		大学・大学院		非若年出産	
	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居
第5回	11.7	14.0	13.0	16.6	7.6	20.4	17.6	19.2	13.3	27.3	15.4	17.7
第6回	14.8	14.9	12.0	17.7	13.8	18.8	13.1	17.0	8.3	19.7	14.1	17.1
第7回	9.1	6.7	5.5	9.9	2.5	9.1	1.2	9.2	13.3	4.8	5.7	7.3

しつけの仕方が家族内で一致していない												
	中学校		高校		専門学校		短大・高専		大学・大学院		非若年出産	
	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居
第5回	20.7	16.5	20.6	12.2	23.7	8.3	12.9	10.9	20.0	18.2	18.8	8.8
第6回	18.8	15.3	20.7	11.8	20.3	8.4	17.9	10.0	16.7	12.7	19.2	8.9
第7回	10.1	5.0	10.3	4.4	12.6	4.8	8.6	5.0	13.3	9.5	9.1	3.8

気持ちに余裕を持って接することができない												
	中学校		高校		専門学校		短大・高専		大学・大学院		非若年出産	
	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居	同居	非同居
第5回	22.1	26.9	24.0	30.0	30.5	31.8	24.7	31.5	20.0	40.9	24.5	26.4
第6回	19.5	22.0	21.1	28.7	27.6	30.0	19.0	31.9	16.7	39.4	22.6	24.0
第7回	12.1	11.7	14.3	18.3	16.8	21.2	16.0	19.9	6.7	26.2	15.8	16.2

図 8 学歴別若年出産者の相談相手の人数

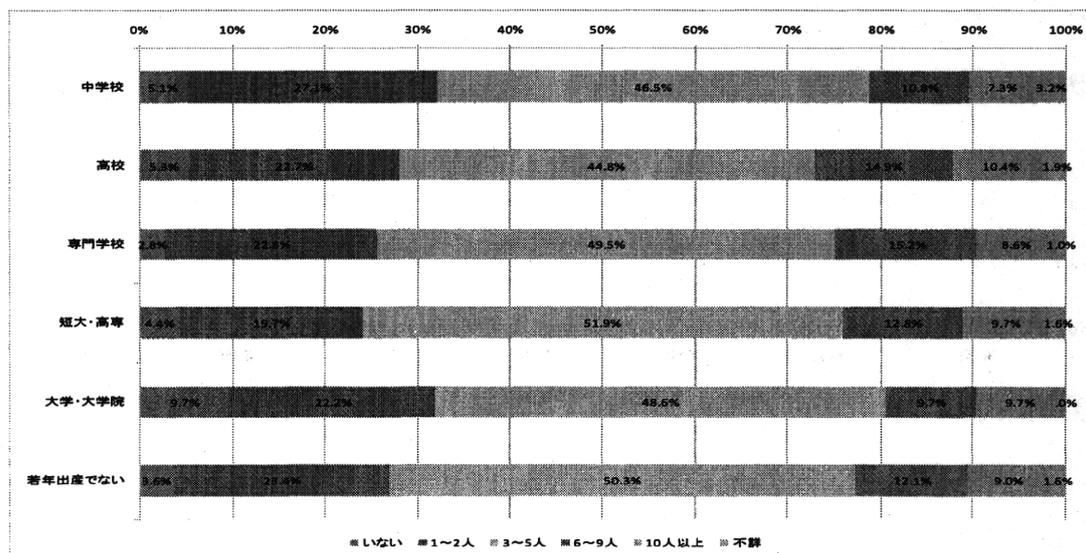


表 13 学歴別若年出産者の子育て費用の分布

中学校

	5千円未満	5千～1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6～9万円台	10万円以上	不詳	合計
第1回	2.4	19.4	28.7	16.1	5.0	5.8	3.5	12.4	6.7	100.0
第2回	5.6	28.1	26.8	13.3	5.3	5.6	3.5	4.8	6.9	100.0
第3回	10.3	30.4	25.3	14.5	5.0	5.2	3.9	1.5	3.9	100.0
第4回	14.4	27.3	19.1	18.3	8.2	6.5	3.9	2.4	0.0	100.0
第5回	3.1	14.2	21.5	20.8	14.2	10.6	7.3	5.0	3.5	100.0
第6回	0.8	9.1	19.3	21.7	17.8	16.7	8.6	2.1	3.9	100.0
第7回	0.0	28.0	26.4	22.2	8.2	6.4	3.3	0.9	4.6	100.0

高校

	5千円未満	5千～1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6～9万円台	10万円以上	不詳	合計
第1回	4.7	23.8	29.7	15.0	3.9	5.1	3.6	10.5	3.7	100.0
第2回	6.7	35.5	24.3	11.2	5.1	5.6	3.1	4.9	3.7	100.0
第3回	10.0	36.7	21.6	10.9	6.6	5.8	3.7	1.5	3.3	100.0
第4回	15.1	25.2	19.3	16.9	10.2	6.5	3.6	3.1	0.1	100.0
第5回	3.4	12.8	16.1	22.5	18.1	11.6	6.1	5.4	4.0	100.0
第6回	1.3	7.6	18.0	23.1	20.5	14.9	8.6	2.6	3.3	100.0
第7回	0.1	25.4	29.8	21.1	8.5	6.6	3.5	1.6	3.5	100.0

専門学校

	5千円未満	5千～1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6～9万円台	10万円以上	不詳	合計
第1回	5.1	26.9	28.8	14.5	4.0	5.6	2.4	9.2	3.4	100.0
第2回	5.5	33.0	23.2	13.2	4.5	6.0	6.0	4.7	4.0	100.0
第3回	9.3	31.9	18.9	13.6	4.3	8.8	7.6	1.4	4.1	100.0
第4回	13.6	23.3	18.0	16.6	11.5	9.9	5.0	1.9	0.2	100.0
第5回	1.8	15.5	14.6	21.6	16.4	15.5	6.3	5.6	2.7	100.0
第6回	0.7	5.6	16.1	25.1	18.5	15.9	13.4	3.2	1.5	100.0
第7回	0.0	21.6	25.8	22.3	10.0	9.0	6.3	2.5	2.5	100.0

短大・高専

	5千円未満	5千～1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6～9万円台	10万円以上	不詳	合計
第1回	4.6	32.2	28.5	11.8	4.4	3.2	3.5	9.7	2.1	100.0
第2回	6.9	36.3	21.8	10.9	6.3	3.9	4.2	4.9	4.9	100.0
第3回	10.8	36.3	20.8	10.5	8.0	6.3	4.3	0.5	2.5	100.0
第4回	14.6	24.4	15.4	20.3	11.5	7.9	4.1	1.8	0.0	100.0
第5回	3.0	13.0	13.6	22.7	18.0	13.9	8.6	5.3	1.9	100.0
第6回	1.1	4.8	14.1	22.3	23.7	16.7	11.9	2.3	3.1	100.0
第7回	0.6	15.6	25.2	28.7	11.5	7.2	3.1	2.5	5.6	100.0

大学・大学院

	5千円未満	5千～1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6～9万円台	10万円以上	不詳	合計
第1回	6.2	30.9	32.0	11.3	2.1	5.2	2.1	8.2	2.1	100.0
第2回	10.3	38.1	15.5	13.4	4.1	7.2	3.1	6.2	2.1	100.0
第3回	11.0	38.5	17.6	11.0	11.0	4.4	2.2	2.2	2.2	100.0
第4回	11.4	22.7	20.5	19.3	12.5	5.7	4.5	3.4	0.0	100.0
第5回	6.2	12.3	13.6	21.0	21.0	11.1	8.6	6.2	0.0	100.0
第6回	1.2	4.8	12.0	20.5	27.7	14.5	13.3	4.8	1.2	100.0
第7回	0.0	19.2	27.4	23.3	17.8	4.1	5.5	1.4	1.4	100.0

若年出産でない

	5千円未満	5千～1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6～9万円台	10万円以上	不詳	合計
第1回	5.8	32.9	28.1	12.2	3.5	3.9	3.4	7.4	2.8	100.0
第2回	8.0	40.0	20.4	9.1	4.0	4.6	6.2	3.7	3.8	100.0
第3回	10.2	37.3	19.8	10.0	5.2	5.5	7.4	1.4	3.1	100.0
第4回	12.1	23.7	16.2	16.9	11.7	9.0	7.1	3.1	0.1	100.0
第5回	2.4	9.2	12.3	18.5	20.2	16.5	11.5	5.8	3.6	100.0
第6回	0.5	4.5	10.8	19.8	22.7	20.0	15.9	3.7	2.2	100.0
第7回	0.1	17.5	26.7	24.8	11.6	8.8	5.5	2.1	2.8	100.0

図9 学歴別若年出産者の習い事の有無

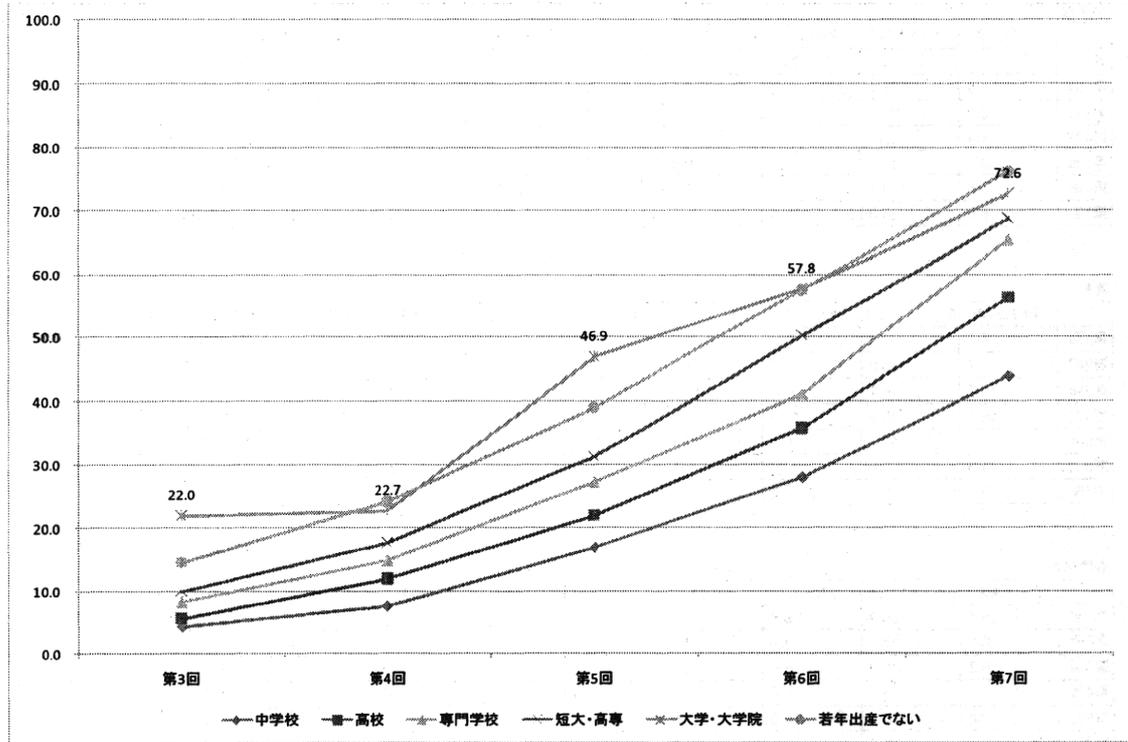


図10 学歴別若年出産者の子どもの家庭学習時間

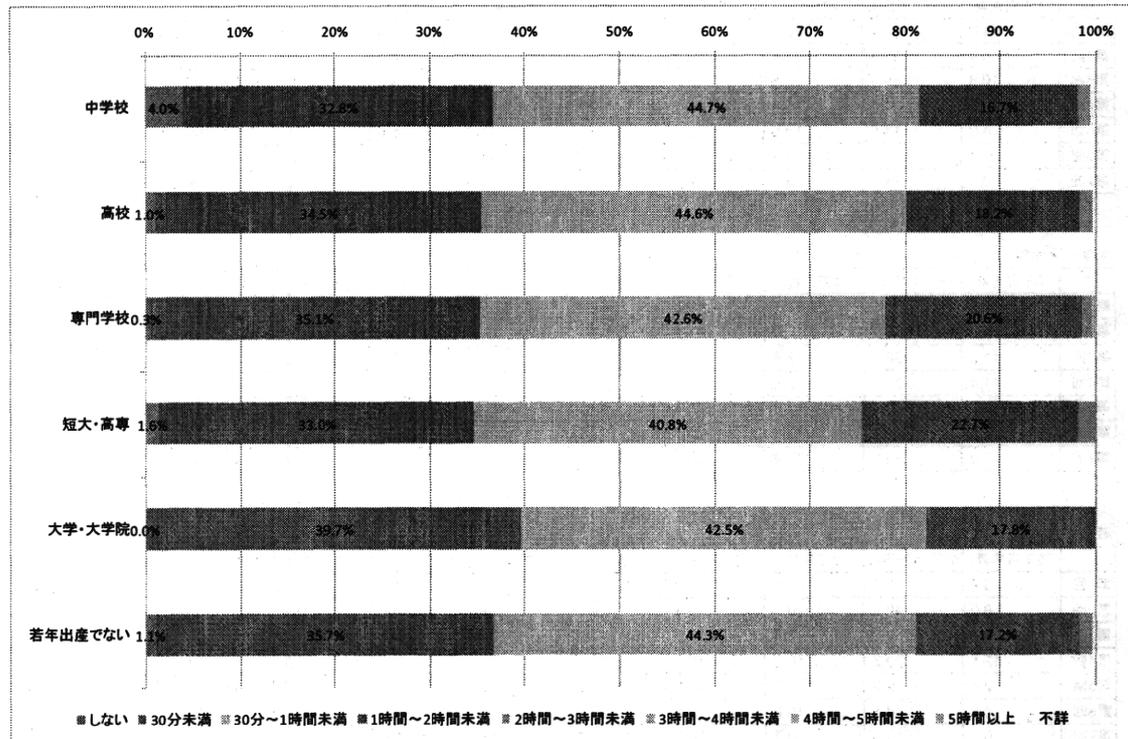
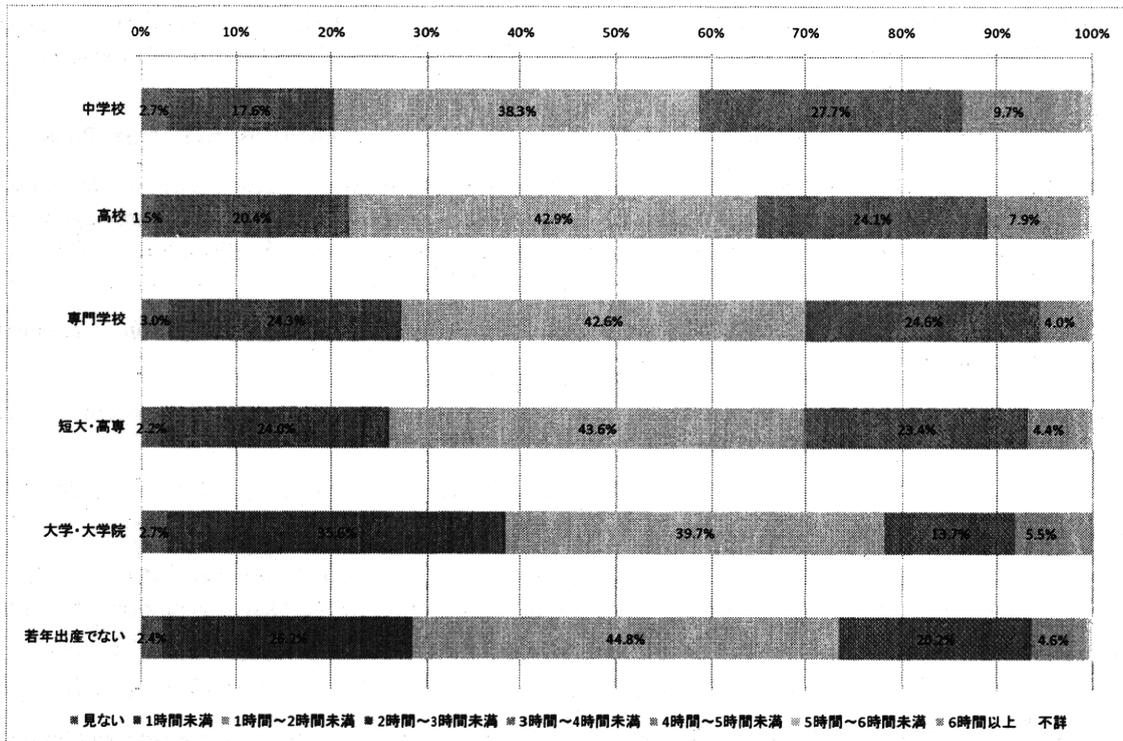


図 11 学歴別若年出産者の子どものテレビ視聴時間



## 5. おわりに

本稿では、現代日本の若年出産の実証分析を、2つの定義をもとに試みた。一つが狭義の若年出産（10代での出産）と広義の若年出産（10代～22歳までの出産）という定義にもとづいた分析である（3節）。もう一つは、24歳以下で子どもを出産した女性を若年出産者と定義した分析である（4節）。

両者にはメリットとデメリットがあることがわかった。すなわち、前者の場合、10代での出産という厳密な意味での若年出産に絞ってその実態を把握できる。しかしながら、サンプル数が小さく、脱落率も高いため、クロス分析などで細分化した場合には極端な結果が出やすくなってしまふ。後者の場合、24歳以下と定義するとサンプル数がある程度確保され、クロス分析なども前者よりは行いやすいかもしれない。しかしながら、10代の若年出産者と24歳の若年出産者とを同列に扱うことになり、若年出産者の実態の幅が見えにくくなるというデメリットもある。特に10代親の実態はつかみにくく、脱落も多いため、今後はいっそうサンプル数が少なくなっていくことが予想される。10代親の実態をより具体的に把握するためには、個別の調査で補うことも検討されるべき課題である。

謝辞 本論文の作成にあたり、数年にわたり研究支援者として、慶應義塾大学大学院・中村亮介氏には多くの支援を頂いた。ここに記して感謝したい。

## 文献

- Angrist, J. and Lavy, V. (1996) "The Effect of Teen Childbearing and Single Parenthood on Childhood Disabilities and Progress in School," *NBER Working Papers* No. 5807 October, National Bureau of Economic Research.
- Arai, L. (2009) *Teenage Pregnancy: The Making and Unmaking of a Problem*, Bristol: Polity Press.
- Berrington, Ann, Diamond, Ian, Ingham, Roger, Stevenson, Jim, Borgoni, Riccardo, Cobos Hernández, M. Isabel and Smith, Peter W.F. (2005) *Consequences of teenage parenthood: pathways which minimise the long term negative impacts of teenage childbearing*. UK, Department of Health. <http://www.dcsf.gov.uk/research/data/uploadfiles/RW52.pdf> (アクセス 2009年12月1日)
- Berthoud, R. and Robson, K. (2001) *The Outcome of Teenage Motherhood in Europe*, Innocenti Working Paper No.86, Florence: UNICEF.
- Boden J M, Fergusson DM, Horwood LJ. "Early motherhood and subsequent life outcomes", *The Journal of Child Psychology and Psychiatry*; 49(2): 151-160.  
<http://www.uoc.otago.ac.nz/research/chds/publications/2008/303.pdf> (アクセス 2009年12月1日)
- Bradbury, B.(2006) *The Impact of Young Motherhood on Education, Employment and Marriage*, Paper presented at the 35<sup>th</sup> Australian Conference of Economists, SPRC Discussion Paper No. 148, September 2006.  
<http://www.business.curtin.edu.au/files/bradbury.pdf> (アクセス 2009年12月1日)
- Chevalier, A., Viitanen, T.K.(2003) "The long-run labour market consequences of teenage motherhood in Britain", *Journal of Population Economics*, 16(2), pp. 323-343.
- DH(Department of Health) and TPS(Teenage Pregnancy Strategy) (2004) Long-term Consequences of Teenage Births for Parents and their Children, Teenage Pregnancy Research Programme research briefing, London, UK: DH and TPS  
<http://www.dcsf.gov.uk/everychildmatters/resources-and-practice/RS00034/> (アクセス 2009年12月1日)
- Ermisch, J. and Francesconi, M. (2001) "Family structure and children's achievements," *Journal of Population Economics*, 14: 249-270.
- Fletcher, J.M. and Wolfe, B.L.(2008) *Education and Labor Market Consequences of Teenage Childbearing: Evidence Using the Timing of Pregnancy Outcomes and Community Fixed Effects* (March 2008). NBER Working Paper No. W13847.
- Francesconi, M.(2008) "Adult Outcomes for Children of Teenage Mothers", *Scandinavian Journal of Economics*, 110(1), pp. 93-117.
- Gustafsson, S. and Worku, S. (2007) *Teenage Motherhood and Long-run Outcomes in South Africa*, TI 2007-024/3, Tinbergen Institute Discussion Paper, University of Amsterdam.  
<http://www.tinbergen.nl/discussionpapers/07024.pdf> (アクセス 2009年12月1日)
- Hobcraft, J. and Kiernan, K. (1999) Childhood poverty, Early Motherhood and Adult Social Exclusion. CASEpaper, 28. Centre for Analysis of Social Exclusion, London School of Economics and Political Science, London, UK.  
[http://libeprints.lse.ac.uk/6484/1/Childhood\\_Poverty,\\_Early\\_Motherhood\\_and\\_Adult\\_Social\\_Exclusion.pdf](http://libeprints.lse.ac.uk/6484/1/Childhood_Poverty,_Early_Motherhood_and_Adult_Social_Exclusion.pdf) (アクセス 2009年12月1日)
- Holmlund, J.(2005) "Estimating Long-Term Consequences of Teenage Childbearing: An Examination of the Siblings Approach", *Journal of Human Resources*, 40(3), pp. 716-743.

- Hotz, V. J., McElroy, S.W., and Sanders, S.G. (2005) "Teenage Childbearing and Its Life Cycle Consequences: Exploiting a Natural Experiment", *Journal of Human Resources*, 40(3), pp. 683-715.
- Kaplan, G., Goodman, A., and Walker, I. (2004) *Understanding the Effects of Early Motherhood in Britain: the Effects on Mothers*, Warwick Economic Research Papers, No 76, Warwick, UK: University of Warwick.
- [http://wrap.warwick.ac.uk/1482/1/WRAP\\_Kaplan\\_twerp706.pdf](http://wrap.warwick.ac.uk/1482/1/WRAP_Kaplan_twerp706.pdf) (アクセス 2009年12月1日)
- Klepinger, D., Lundberg, S., and Plotnick, R. (1999) "How Does Adolescent Fertility Affect the Human Capital and Wages of Young Women?", *Journal of Human Resources*, 34(3), pp.421-48.
- 細金和子(2009)「10代でひとり親家庭の母となる人たち」子どもの貧困白書編集委員会編『子どもの貧困白書』明石書店、250-251頁。
- 伊藤悠子(2009)「10代の出産と子育て・子育ち：貧困からのダメージを乗り越える力」子どもの貧困白書編集委員会編『子どもの貧困白書』明石書店、247-249頁。
- 窪田康平(2009)「母親の若年出産が子供の就学に与える影響」財団法人関西社会経済研究所。  
[http://www.kiser.or.jp/ja/temp/pdf/779\\_Pdf01\\_15.pdf](http://www.kiser.or.jp/ja/temp/pdf/779_Pdf01_15.pdf) (アクセス 2009年12月7日)
- 町田市子どもマスタープラン若年出産家族支援作業部会(2007)『若年出産家族の現状』
- 大川聡子(2009)「10代の出産をめぐる家族の調整」『立命館産業社会論集』45(1)、207-228頁。
- 坂本和靖「親の行動・家庭環境がその後の子どもの成長に与える影響」IPSS Discussion Paper(No. 2007-J01) 国立社会保障人口問題研究所。
- 東京都社会福祉協議会保育部会調査研究委員会(2002)『10代で出産した母親の子育てと子育て支援に関する調査報告書』
- 上田美香・森田明美(2009)「10代子育て家庭への妊娠期からの福祉的支援に関する研究：A市における10代親への継続的インタビュー調査」(日本社会福祉学会第57回全国大会自由報告、2009年10月11日、法政大学)
- 若林ちひろ・森田明美・井上仁・田谷幸子・前田信一・兼井京子(2009)「10代子育て家庭への妊娠期からの福祉的支援に関する研究：児童福祉施設入所施設出身者、施設職員への調査」(日本社会福祉学会第57回全国大会ポスター発表、2009年10月11日、法政大学)

## 7 子育て期の保育支援資源の都市規模・地域移動経験による違い

西野 淑美

### 1. 問題設定的

本稿では、第1回から第7回の21世紀出生児縦断調査を用いて、都市規模・地域移動類型別に、母親が得られる保育支援や子育てへの感じ方を描く。そのことを通じて、都市規模による母親の就業率の差を、各親が得られる保育支援の資源の差に分解して読み取することを目的とする。

非大都市部で有職率が高いことは、例えば(由井他、2004)で地図を用いて示されるなど、既に指摘されてきていることである。大都市郊外は核家族が多い子育て空間であることは家族社会学の定説でもあり、例えば(立山、2005)では社会地図を用いて詳細に示されている。

なぜ大都市部では子育て期の母親の有職率は相対的に低いのか。一つの説明として、母親が職に就く、つまり両親が共働きをするにあたって、日中に子供を見てくれる支援者を確保しやすいかどうかの影響することが考えられるだろう。その主な支援者は、祖父母と保育所等のサービスだろう。祖父母という資源の調達可能性は、祖父母と同居・近居しているかに左右される。大都市のように実家を離れた人が多く住む地域では、祖父母の支援は得にくいことが予想される。祖父母の支援が得られなければ保育サービスへのニーズが高まるだろうが、供給量が追い付かなければ、有職率自体が抑制されるだろう。本稿では、このような予想されるメカニズムを、データによって裏付けていく<sup>1</sup>。

### 2. 使用・作成した変数

本稿では、クロス表分析を行っていくが、とりあげる変数について説明する。都市規模の区分は、第1回(対象児6ヶ月時)から第7回(対象児7歳時)の居住地から、2005年国勢調査の分類に沿って三大都市圏中心市・三大都市圏周辺市町村のカテゴリを作った。それ以外の地域については、2005年時点の政令指定都市、その他の市、郡部(=町村部)に分けた。なお、文中で「三大都市圏」と表記する場合は、三大都市圏中心市と同周辺市町村を指す。「大都市部」とした場合は、三大都市圏中心市と同周辺市町村、および政令指定都市を指す。

地域移動の類型については、各回の間で自治体を越える移動を経験した回答者について、これらのどの地域カテゴリの間を移動したのかに分けて作成した。具体的には、①自治体移動がなかった場合(=「自治体移動なし」)、②三大都市圏の同じ都市圏(中心市と周辺市町村の両者を含む)の中で移動した場合、および三大都市圏以外の地域では県内で移動した場合(=「同じ大都市圏内か県内で移動」)、③三大都市圏では各都市圏を、三大都市

<sup>1</sup> (西野、2008)でも、イベントヒストリー分析によって、これらを示唆するような結果が大まかに得られていた。本稿では、保育資源という視点でさらに分解していく。